

関係各位

薬 剤 部 長

## 医薬品情報第 6 号（令和 3 年度）

令和3年10月13日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用医薬品は5品目、新規採用医薬品は5品目、削除医薬品は3品目です。

### [ 新規試用採用医薬品 ]

No	薬 品 名	薬 価	一 般 名	薬 効	長期投与	会社名
1	ツムラ五苓散エキス顆粒	¥14.0/g	五苓散エキス	漢方製剤	可	ツムラ
2	ベリキューボ錠 2.5mg	¥131.5/錠	ベルイシグアト	慢性心不全治療剤	不可	バイエル
3	ベリキューボ錠 5mg	¥230.4/錠			不可	
4	ベリキューボ錠 10mg	¥403.8/錠			不可	
5	ツイミーグ錠 500mg	¥34.4/錠	イメグリミン塩酸塩	糖尿病治療剤	不可	大日本住友

### [ 新規採用医薬品 ]

No	薬 品 名	薬 価	一 般 名	薬 効	長期投与	会社名
1	プロポフォール 1% 静注 20mL「マルイシ」	¥536.0/管	プロポフォール	全身麻酔鎮静剤	非該当	丸石
2	プロポフォール 1% 静注 100mL「マルイシ」	¥1,110.0/本			非該当	
3	ミヤBM錠	¥5.7/錠	酪酸菌製剤錠	生菌剤	可	ミヤサン製薬
4	ミヤBM細粒	¥6.3/g	酪酸菌製剤細粒		可	
5	シプロフロキサシン点滴静注液 400mg「ニプロ」	¥1,097.0/袋	シプロフロキサシン	ニューキノロン系注射用抗菌剤	非該当	ニプロ

### [ 新規診療科限定医薬品 ]

No	薬 品 名	薬 価	一 般 名	薬 効	長期投与	会社名
1	生食注シリンジ 10mL「NP」	¥97.0/筒	生理食塩液	血液代用剤	非該当	ニプロ
2	生食注シリンジ 50mL「ニプロ」	¥264.0/筒				

※麻酔科限定

### [ 新規限定採用医薬品 ]

No	薬 品 名	薬 価	一 般 名	薬 効	長期投与	会社名
1	インチュニブ錠 1mg	¥410.7/錠	グアンファシン塩酸塩	注意欠陥/多動性障害治療剤	可	塩野義

☆削除対象医薬品について

No	薬品名	薬効	同効薬	理由
1	ファロム錠 200mg	経口ペネム系抗菌薬	なし	処方実績が少ないため 採用薬品の整理。
2	タイムック配合内用液	消化性潰瘍・胃炎治療剤	なし	昨年度、処方実績がないため。
3	セフトラジジム 静注 0.5g 「マイラン」	セフェム系抗生物質製剤	セフトラジジム静注 1g「NP」	処方実績が少ないため。 採用薬品の整理。

\* 上記削除対象医薬品について異議がございましたら、10月29日までに薬剤部薬務(内線 40133)までご連絡下さい。

☆削除医薬品について

No	削除医薬品	薬効	同効薬	理由	在庫数 (2021.10 時点)
1	バナシ錠 100mg	セフェム系抗生物質製剤	セフカペンピボキシル錠 100mg	処方実績が少ない ため	68 錠 (2021.10 期限)
2	エピナスチン塩酸塩錠 20mg「アメレ」	アレルギー性疾患治療剤	フェキソフェナジン塩酸塩 OD 錠、オロパタジン塩酸塩錠	出荷停止で調達が困 難なため。採用薬品の 整理	615 錠
3	シプロフロキサシン点滴静 注 300mg「NP」	ニューキノロン系注射用 抗菌剤	シプロフロキサシン点滴静注 400mg「ニプロ」	製造販売中止のため	6 袋

\* 在庫の使用促進にご協力をお願い致します。1 については、引き続き院外処方が可能です。

[ 後発医薬品への切り替えについて ]

No	成分名	切り替え後採用後発医薬品			旧採用医薬品	
		商品名	会社名	薬価	商品名	薬価
1	エソピクロン	エソピクロン錠 1mg「ニプロ」	ニプロ	¥17.0/錠	ルネスタ錠 1mg	¥45.6/錠
2	アジルサルタン/アムロ ジピン配合錠	ジルムロ配合錠 HD「武田テバ」	武田テバ	¥55.5/錠	ザクラス配合錠 HD	¥110.9/錠
3	ラタノプロスト	ラタノプロスト点眼液 0.005% 「センジュ」	千寿製薬	¥274.0/mL	キサラタン点眼液 0.005%	¥506.5/mL

[ 新規採用検査試薬 ]

No	品名	用途	会社名
1	LabMAP Sheath Fluid PLUS	移植関連検査機器 Luminex100/200 に使用	ルミネックス・ジャパン

[ 新規院外登録医薬品 ]

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	セルセプト懸濁用散 31.8%	¥183.3/200mg1mL	ミコフェノール酸モフェチル	免疫抑制剤	可	中外

☆Drug Information News(354号、2021.10号)

1. DRUG SAFETY UPDATE(No.302)

2.その他 重要な添付文書改訂情報

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容												
ペントバルビタールカルシウム/ ラボナ錠	<p><b>〔禁忌〕 追記</b>  <u>ミトタンを投与中の患者</u></p> <p><b>〔併用禁忌〕 新設</b></p> <table border="1" data-bbox="614 353 1335 461"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミトタン</td> <td>本剤の睡眠作用が減弱するおそれがある。</td> <td>機序は明確でないが、本剤の睡眠作用が減弱するとの海外報告がある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ミトタン	本剤の睡眠作用が減弱するおそれがある。	機序は明確でないが、本剤の睡眠作用が減弱するとの海外報告がある。						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
ミトタン	本剤の睡眠作用が減弱するおそれがある。	機序は明確でないが、本剤の睡眠作用が減弱するとの海外報告がある。											
フェノバルビタールナトリウム/ ノーベルバル静注用	<p><b>〔禁忌〕 一部改訂</b>            ボリコナゾール、タダラフィル（肺高血圧症を適応とする場合）、アスナプレビル、ダクラタスビル、マシテンタン、エルバスビル、グラゾプレビル、チカグレロル、アルテメテル・ルメファントリン、ダルナビル・コビススタット、ドラビリン、リルピビリン、リルピビリン・テノホビルジソプロキシル・エムトリシタビン、リルピビリン・テノホビルアラフェナミド・エムトリシタビン、ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド、<u>ダルナビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド</u>、エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド、エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシル、ソホスブビル・ベルパタスビル、ドルテグラビル・リルピビリンを投与中の患者</p> <p><b>〔併用禁忌〕 一部改訂</b></p> <table border="1" data-bbox="614 1236 1335 1424"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド</td> <td>ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下するため、この薬剤の効果が減弱し、この薬剤に対する耐性が発現する可能性がある。</td> <td>本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A)誘導作用及びP糖蛋白誘導作用による。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>追記</b></p> <table border="1" data-bbox="614 1478 1335 1639"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>ダルナビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド</u></td> <td><u>ダルナビル、コビススタット及びテノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。</u></td> <td><u>本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A)誘導作用及びP糖蛋白誘導作用による。</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>削除</b>            ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド	ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下するため、この薬剤の効果が減弱し、この薬剤に対する耐性が発現する可能性がある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A)誘導作用及びP糖蛋白誘導作用による。	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>ダルナビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド</u>	<u>ダルナビル、コビススタット及びテノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。</u>	<u>本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A)誘導作用及びP糖蛋白誘導作用による。</u>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド	ビクテグラビル及びテノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下するため、この薬剤の効果が減弱し、この薬剤に対する耐性が発現する可能性がある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A)誘導作用及びP糖蛋白誘導作用による。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
<u>ダルナビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミド</u>	<u>ダルナビル、コビススタット及びテノホビルアラフェナミドの血中濃度が低下するおそれがある。</u>	<u>本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A)誘導作用及びP糖蛋白誘導作用による。</u>											
ニトロプルシドナトリウム水和物/ ニトプロ持続静注液	<p><b>〔警告〕 追記</b>  <u>本剤は緊急時に適切な対応がとれる施設において循環器疾患治療や救急医療に十分な知識及び経験のある医師の下で使用すること。</u></p>												

	<p><b>[重大な副作用] 追記</b></p> <p><u>シアン中毒：</u></p> <p><u>シアン中毒の徴候として、耐薬性の出現、代謝性アシドーシスの進行、静脈血酸素含量の上昇及び心電図 ST-T 波変化などがあらわれる。</u></p> <p><u>症状が発現した場合は、直ちに本剤の投与を中止し、シアン中毒に対する治療を行うこと。シアン中毒の治療には日局 チオ硫酸ナトリウム水和物の静脈内投与、日局 亜硝酸アミルの吸入又は亜硝酸ナトリウム<sup>注)</sup>の静脈内投与等が有効であり、特に亜硝酸剤投与後にチオ硫酸ナトリウム水和物を投与する併用療法の効果が高い。注) 亜硝酸ナトリウムについては医薬品として市販されていない。</u></p>
<p>セレキシパグ/ ウプトラビ錠</p>	<p><b>重要な基本的注意] 一部改訂</b></p> <p>本剤は、<u>肺動脈性肺高血圧症又は慢性血栓塞栓性肺高血圧症</u>の治療に十分な知識及び経験を有する医師のもとで使用すること。</p>
<p>ダパグリフロジンプロピレングリ コール水和物/ フォシーガ錠</p>	<p><b>重要な基本的注意] 一部改訂</b></p> <p>本剤投与中に、血清クレアチニンの上昇又は eGFR の低下がみられることがあるので、腎機能を定期的に検査すること。腎機能障害のある患者では経過を十分に観察し、特に<u>重度の腎機能障害患者に本剤を投与する際には、腎機能障害の悪化に注意すること。</u>糖尿病の血糖コントロール改善を目的として使用している患者においては、継続的に eGFR が 45mL/min/1.73 m<sup>2</sup>未満に低下した場合は投与の中止を検討すること。</p>
<p>クラリスロマイシン/ クラリシッド・ドライシロップ小 児用、クラリスロマイシン錠 「タカタ」</p>	<p><b>[禁忌] 一部改訂</b></p> <p>ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィール（アドシルカ）、チカグレロル、イブルチニブ、アスナプレビル、ダクラタスビル塩酸塩・アスナプレビル・ベクラビル塩酸塩、イバブラジン塩酸塩、</p>

クラリスロマイシン/ クラリシッド・ドライシロップ小 児用、クラリスロマイシン錠 「タカタ」	<b>【禁忌】 一部改訂 ー続きー</b> ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病 （小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期） <u>、ルラシド          ン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩を投与中の患者</u>										
	<b>【併用禁忌】 一部改訂</b>										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）</td> <td>腫瘍崩壊症候群の発現が増強するおそれがある。</td> <td>本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）	腫瘍崩壊症候群の発現が増強するおそれがある。	本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。				
	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子								
ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）	腫瘍崩壊症候群の発現が増強するおそれがある。	本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。									
<b>追記</b>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルラシドン塩酸塩</td> <td>ルラシドン塩酸塩の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。</td> <td>本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td>アナモレリン塩酸塩</td> <td>アナモレリン塩酸塩の血中濃度が上昇し、副作用の発現が増強するおそれがある。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ルラシドン塩酸塩	ルラシドン塩酸塩の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。	アナモレリン塩酸塩	アナモレリン塩酸塩の血中濃度が上昇し、副作用の発現が増強するおそれがある。			
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子									
ルラシドン塩酸塩	ルラシドン塩酸塩の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。	本剤のCYP3Aに対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。									
アナモレリン塩酸塩	アナモレリン塩酸塩の血中濃度が上昇し、副作用の発現が増強するおそれがある。										

☆その他

メキシチールカプセル 50mg、100mg(院外処方)の供給状況について

	医薬品名	現状	対応
出荷調整	メキシチールカプセル 50mg(※院外処方)	後発医薬品の出荷調整の影響を受けて、先発品も出荷調整中。	院内処方も、下記の通りで、採用医薬品の在庫も限られているため、院外から院内への切替え対応は不可。
	メキシチールカプセル 100mg(※院外処方)		
出荷停止	メキシレチン塩酸塩カプセル 50mg「日医工」	薬剤部の在庫は、あと1箱で消尽。	消尽後は、マスタを一旦停止。 100mg は、出荷が再開されているが、供給は不安定なままである。